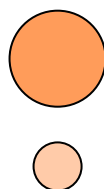


### 編集室より

環境庁は夏のクールビズに続いて冬のウォームビズを打ち出した。地球温暖化に貢献するというキャンペーンであり、暖房の設定温度を下げても快適に働けるというのだから、業界としてはどうこのキャンペーンに相乗りしていくか、真摯に考える必要がある。過日、産地の方から「ウォームビズで尾州にフォローの風が吹く」という話を聞いた。確かにウールは暖かくチャンス到来だが、IT化が進んだオフィスで背広を着て仕事をするだろうか。発熱下着や保温靴下などにキャンペーン成果を奪われるのではないかと心配した。チャンスをモノにするには戦略が必要。産地あげてのウォームビズキャンペーンが望まれる。ご意見があれば、お寄せ下さい。T & F 誌は紙面キャンペーンを展開します。「ウォームビズ—私の提案」のテーマで寄稿をお待ちしています。(MY)



## テキスタイル&ファッション

編集・発行  
監修

財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター  
愛知県産業技術研究所尾張繊維技術センター  
愛知県繊維振興協会